

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	平成20年度第3回高松市スポーツ振興審議会
開催日時	平成21年3月3日(火) 10時00分～11時50分
開催場所	高松市役所 11階 113会議室
議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議題：屋島陸上競技場再整備基本構想(案)に関する答申(案)について</li> <li>・報告事項(1) 南部地域の核となる特色あるスポーツ施設整備に当たっての基本的な考え方について</li> <li>・報告事項(2) スポーツ振興基本計画(仮称)策定に係るアンケート調査結果について</li> <li>・その他</li> </ul>
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	野崎会長，林副会長，長谷川副会長，城門委員，小島委員，小西委員，多田委員，松本委員，山下委員 欠席1名
傍聴者	0人 (定員 10人)
担当課および連絡先	スポーツ振興課 839-2626

### 会議経過および会議結果

次のとおり会議を開会し、議題について協議した。

- 1 開会  
午前10時00分
  - 2 会議の成立  
事務局から、委員10名のうち出席9名にて、設置要綱により会議が成立していることを報告。
  - 3 会議の公開  
・野崎会長から、本日の会議では、非公開となるような事項の審議は想定されないことから、会議を公開することを諮り、異議なく了承された。
  - 4 議題  
・事務局より、「屋島陸上競技場再整備基本構想(案)に関する答申(案)」について資料に基づき説明。
- 質疑  
(会長)  
この答申(案)は、前回の審議会を踏まえ、6項目の内容に集約して作成した。この6項目を中心に意見を伺いたい。
- (委員)  
夏の陸上競技場はとても暑いことから、大会時は、スタンド中央付近に霧状の噴霧システムや日陰地を造る必要性を感じる。また、拠点となる清潔で美しいトイレの整備も重要と考える。コインを使用することで、綺麗で明るいトイレが管理されるのではないか。

## 会議経過および会議結果

(委員)

要約として、一つは「真夏の健康対策」、もう一つは「気持ちのよいアメニティー空間として、公園的利用上でのトイレ整備」と考えてよく、答申(案)のなかでは、2番目の項目に当たる。

(委員)

2項目の健康づくりの前に「市民の」を加筆していただき、「市民の健康づくり」に修正していただきたい。

(委員)

陸上競技の専門性と市民の健康づくりや憩いの場創りといった両面を明らかにした表記とする意見である。

(委員)

「観光の拠点として」との文節で、隣接する屋島があり、本競技場はその外苑(パーク)として捉えるのか疑問を持つ。屋島は、昭和9年に全国で最初に国立公園の指定を受けた3箇所の一つであり、自然の豊さで認められた観光拠点であることから、第2項目の「観光の拠点として」の表現は、削除していただきたい。屋島陸上競技場を全国に知らしめるのであれば、那須与一の逸話を全国で知らない人は少ないと思うので、全国弓道大会の開催、那須与一の出身地、栃木県との交流大会を行う等のプログラムを実施する運営管理を行うべきと考える。屋島陸上競技場でしかできない大会やイベントを行うことで街おこしや観光に寄与するものである。

(委員)

「海・山を活かす」施設創りの意見をいただいた。2項目の中の「観光の拠点施設」という字句は、削除した方が、内容の誤解を生じないと考えられる。また、これまでの第3種の陸上競技場を第2種にすることにより、「市民が利用しにくくなる」との懸念を排除する上で、例えば市民ミニマラソンや市全体が活性化するハード・ソフト両面という字句に繋がる表記が望ましい。

(委員)

2項目の「観光の拠点施設」という表現は、結果として、観光の後援的役割を意図しているのではないか。

(委員)

「観光の拠点施設」は除外し、第5項での表現で要約される。

(会長)

他の項目での意見はないか。

それでは、第2項目を「利用促進に当たっては、陸上競技などの競技スポーツ施設としての利用と、市民の健康づくりや憩いの場、各種イベント・行事の開催などの多目的な利用とが両立するよう、ハード・ソフト両面にわたって、効果的な取組みをされたい。」と修正したい。

本日、午後4時30分より、この内容において、副会長と共に大西市長に「答申」を行いたい、よろしいか。

(各委員)

異議なし。

### 5 報告事項(1)

・「南部地域の核となる特色あるスポーツ施設整備に当たっての基本的な考え方について」について

## 会議経過および会議結果

### ○質疑

(委員)

報告事項(1)の「南部地域の核となる特色あるスポーツ施設整備に当たっての基本的な考え方について」各委員の意見を伺いたい。

(事務局)

委員の皆様の意見を承り、平成21年度中に地元を始め市民の方々の意見を取りまとめる計画である。

(委員)

市民スポーツを考えると、小学校の体育館等を利用したイメージがあるが、市民と地域・地区としての使い分けを明らかにする必要があるのではないか。例えば、総合型スポーツ施設と小学校や中学校の体育館施設との区分・区別をした利用で、南部地域のスポーツ施設は、多目的・多種目に利用できるように望む。

(委員)

最近、コミュニティー・スポーツという表記が見られるが、実態としてレクリエーションしか行っていない。一つ目は小学校校区でウォーキングエリア、二つ目は中学校校区を単位としたサイクルエリア、三つ目は高等学校校区でオートエリアとして、自分なりに区分している。ドイツは総合型で民間クラブでの活動も充実しているが、日本は、もともと学校の部活動を単位として展開してきた。だが今日、小学校では対抗を排除する教育となり、スポーツの教育面での問題も生じている。高松では最近、学校施設を使って私塾化しているところがある。スポーツエゴと言えるようなことを、スポーツ振興と捉えないようにしなければいけないと思う。

(委員)

スポーツ施設の整備において、地域性や地域の活動が活発な種目に応じた対応も必要である。県の東部域は、他の地域に比べて整備が遅れているようにも思われる。利用する人たちや地域の活動を調査した上で整備も行うことが必要である。

(委員)

スポーツフェスティバルは、10数種目行っているが、各校区がすべてエントリーできているわけではない。香川町、香南町だけでなく、他の校区との合同や種目別の区分等、費用対効果を考えた上で、整備していただきたい。

(事務局)

南部地域のスポーツ施設は、地区の整備のみならず市民全体が供用できる施設としての位置づけをしている。旧香川町との合併の経緯は、町として「総合運動公園」を整備したいとの強い要望であった。東部運動公園も縮小している状況の中で協議して、まちづくり計画では、南部地域の核となる特色あるスポーツ施設の整備として記述している。また、前回配付資料3ページの配置図にあるように、山田地区等を除いて、ある程度の水準で整備されていると認識している。実態を把握した上で経済状況を踏まえ、市有地を利用した場所での整備を進めたいと考えている。照明施設については、利用率向上を目指すことから整備をしたい。また人工芝は、いろいろな競技の利用において有利である。

(委員)

高松市は「スポーツ施設」の整備、旧香川町は「総合運動公園」の要望と現段階で差があるが、香川町・香南町には十分すぎる程のスポーツ施設があるのではないか。香南町は新しい体育館を中学校が利用していたりする。一般の人々は地域型の運営管理がなされてお

## 会議経過および会議結果

り、住民参加できる体制は整っている。新たに整備を行う施設の利用頻度は低いと考え、大きな施設は不用と思う。

(委員)

旧香南町の場合、総合型町民体育館で整備したが、中学校が利用しているのが現状のようで、社会教育振興としてのプログラムサービスを行う必要があるのではないか。

(事務局)

何を「特色」とするかを、今回提示させていただいた。本審議会を始めいろいろな意見を伺って、平成21年度中に計画をまとめる予定としている。

(委員)

総合運動公園は現実的にも無理があるとの意見が多いが。

(委員)

配付資料の4・5ページに掲載される施設のうち、公園とスポーツ施設

の区分が分かりづらいが。

(事務局)

東部運動公園の整備については、公園緑地課が所管しているが、これまでは公園は公園緑地課、体育館やグラウンドは、スポーツ振興課が所管となっていたが、こらからのスポーツ施設は全てスポーツ振興課で管理することになる。

### 6 報告事項(2)

・事務局より、「スポーツ振興基本計画(仮称)策定に係るアンケート調査結果について」について資料に基づき説明。

#### ○質疑

(委員)

内容について、意見はあるか。

(委員)

体育指導委員に対する市民の認知度が低い結果となっていることから、今後はいっそうの努力をしなければいけないと感じた。108名の指導委員が決意を新たに頑張りたい。

(委員)

地域の健康、自転車や徒歩による健康運動といった面での活動に力点をおくべきと思う。

(委員)

今日、地域で何かを行うという人が減っている。神戸の震災時を捉えても、地域活動は重要であり、スポーツや健康面での地域の活性は重要である。

(委員)

年齢が高くなるほど地域住民の活動に参加したいとなっているが、この意味から自宅から近く、気軽な場所での活動・スポーツ等を考えるべきである。

(委員)

地域の公民館や学区の体育館を利用しやすくすることが重要である。

## 会議経過および会議結果

(委員)

大小様々な公園があるが、公園を計画する際に遊具を少なくすることを望みたい。また、市の関係各課がメンバーとなるミーティングを行い進めることが必要でないか。

(委員)

「協働」の活動精神がスポーツ振興の基本に繋がるよう、今後も共に考えていきたい。

アンケート結果については、今一度資料を見ていただき、別の機会に御意見を承わることとしたい。

7 その他

事務局より、謝辞と閉会宣言。

8. 閉会

午前 11 時 50 分